

## 京都大学 GNSS 観測点における 5 月 5 日の地震 (M6.5) に伴う地殻変動

京都大学防災研究所

京都大学防災研究所が珠洲市に設置している GNSS 観測点における 5 月 5 日の地震 (M6.5) 前後の 30 秒毎の座標値をキネマティック GNSS 解析により推定した。座標値の計算にはカナダ測地局のオンライン解析ツール (CSRS-PPP, <https://webapp.csrsc-scrs.nrcan-rncan.gc.ca/geod/tools-outils/ppp.php>) を利用した。地震前後の 10 分間平均座標値から、SZMT 観測点で西南西方向に約 9cm (水平成分) の地殻変動があった可能性がある (図 1)。SZMT, SZOT 観測点の時系列には、地震発生に伴うオフセットが確認できる (図 2)。

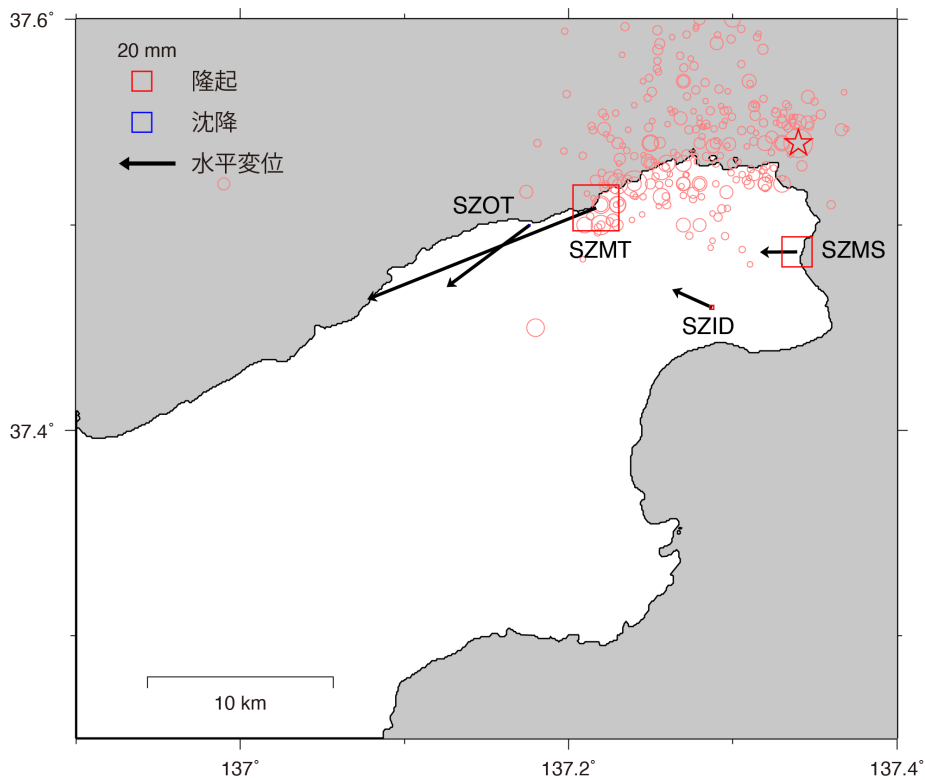
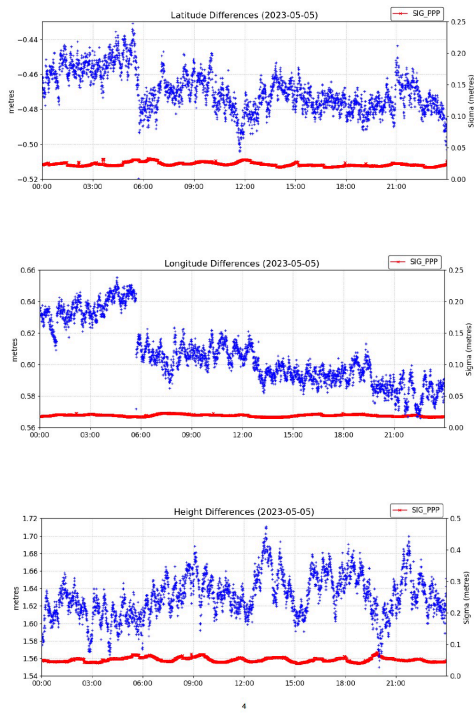
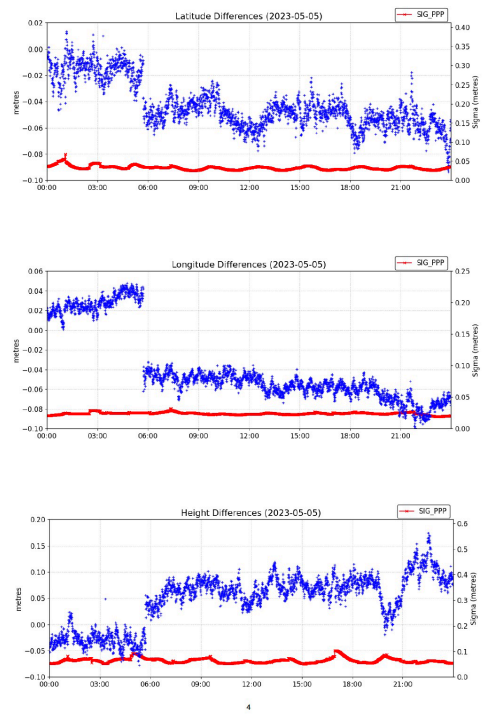


図 1 5 月 5 日 14:42 の地震 (M6.5) に伴う地殻変動。地震前後 10 分間の 30 秒座標平均値の差から計算した。

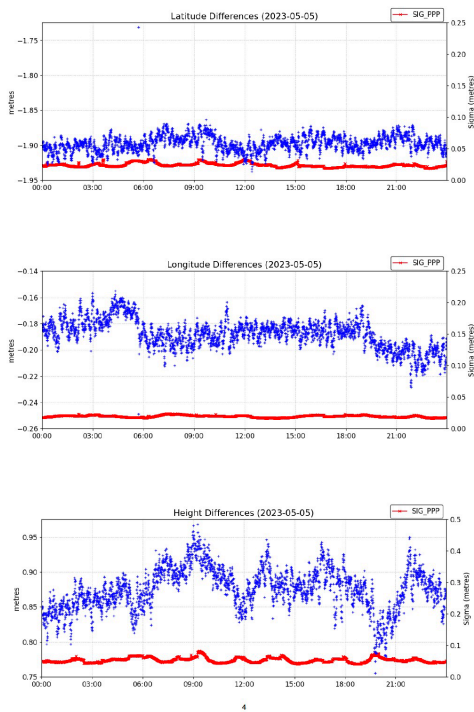
(a)



(b)



(c)



(d)

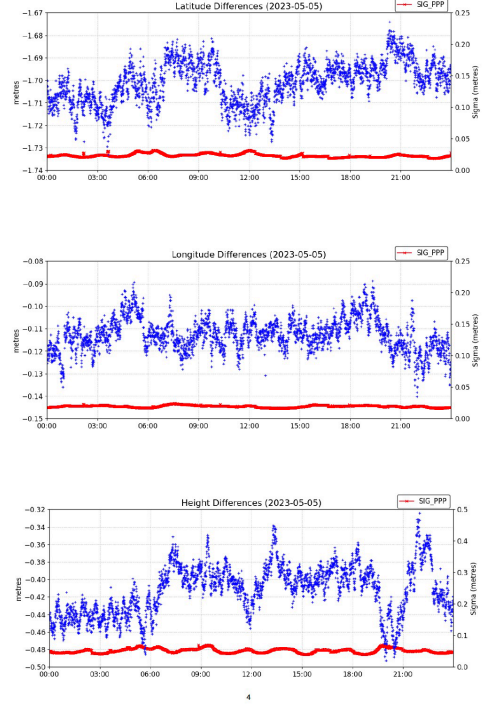


図2 キネマティック PPP 解析による 30 秒座標値. 横軸は 5 月 5 日の GPS 時刻. (a)SZOT, (b)SZMT, (c)SZID, (d)SZMS